



第94号

平成25年6月30日

発行

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184 24 4141(代)

FAX 0184 24 4143

木材流通センター 由利本荘市西目町沼田字新道下 1019 1
TEL 0184 32 1088 FAX 0184 32 1089

製材工場『木香里』 由利本荘市西目町沼田字新道下 1020 1
TEL 0184 32 1080 FAX 0184 32 1081

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



第19回 労働安全衛生大会

(6月21日 由利コミュニティーセンター「善隣館」)

第十九回 本荘由利森林組合通常総代会 開催

平成二十五年五月三十一日、ホテルアイリスを会場に通常総代会が開催されました。

当日は委任出席・書面議決を含む二五一名が出席し、安倍秋雄氏（東由利地区）が議長に選出され、議事が進行しました。

平成二十四年度事業報告や平成二十五年度事業計画他、上程された七議案と附帯決議は慎重審議の結果全て可決・承認されました。



組合長あいさつ

本日、第十九回本荘由利森林組合通常総代会を開催するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

昨年は三年ぶりで政権交代があり、安倍内閣により掲げた経済政策アベノミクスが効して、それまで円高で推移してきた為替が、一気に円安基調となったのは衆知のことです。デフレからインフレへの大号令で、大手企業ではベースアップや一時支給金のアップなど、景気の

良い報道がされていますが、全国の中小企業が恩恵を受けるまでにはいささかの時間が必要であります。

国では、この四月から木材利用ポイント事業として、住宅の新築、増改築や内外装の木質化など、地域材の適切な利用をした際に、最大三十万ポイントを付与し、地域材利用による第一次産業をはじめとする、地域経済全体への波及効果を及ぼす取り組みへの支援を始めました。

来年に控えた消費税増税前の駆け込み需要が見込まれる中、住宅エコポイント制度同様、経済活性化の一助になればと大いに期待するところです。

今後の人口推移を鑑みれば、新築住宅着工数が大幅増となりうる根拠は限りなく少ない訳ですが、震災復興に係る需要や国産材の利用拡大を図りながら、成熟期に達した感のある管内民有林を、有効かつ最大限に利用することが、この地域の活性化に繋がるものと考えます。

また、木材自給率五十%に向けた取組みとして、素材生産用林業機械

や路網整備、人材育成を目的とした緑の雇用事業など、多岐に亘る県の施策が後押しして、林業が保育から生産へと加速的に変化して来ております。

当組合としても、昨年度皆様からご承認いただきました事業計画通り、五台の高性能林業機械を導入し、かつ生産班を四班に増やして生産拡大とコスト低減に努めているところで

です。昨年度は、木材価格の下落や、合板工場の一時受入停止など、決してスギ素材の販売環境は良くありませんでしたが、事業体の協力もあり、昨年度を上回る過去最高の取扱量となりました。未だに木材価格の完全復活には至っておりませんが、管内事業体の生産基盤の充実ぶりを考えれば、今年度も昨年度以上の生産が見込まれるものであります。

木材加工では、木材乾燥機二基を導入し、現在、フル稼働の状況です。組合員皆様の山林から生産される木材に付加価値を付けて販売することが所期の目的でしたので、四年後の目標、乾燥材比率二十%の生産量達成に向け、鋭意努力してまいります。

管内十万ヘクタールの森林を、一大生産工場と見据え、将来に亘り守

つていくには、行政庁との連携や、民有林においては「森林経営計画」や集約化事業の充実・拡大を図り、

ともに潤う環境づくりが最良の方法と思われまますので、各種提案にご協力下さいませよう願います。

その他取り組みとして、木質バイオマス事業がございませが、「木質飼料ペレット」の製造が最終年となりますので、今後の事業化へ向けた試金石となるようデータの収集と技術の取得を確かなものとしてまいります。

平成二十四年度は、皆様の絶大なご協力をいただきましたが、残念ながら、事業収益、事業利益ともに計画対比九十%という実績に終わり、経常利益を計上することができませんでした。最終的には剰余金処分案のご提案とはなりましたが、森林組合としての経営基盤強化はまだまだ道半ばであります。

今年度も役員一体となり、年度計画の達成に向けて頑張つてまいりますので、関係各位のご指導、ご教示賜りますようお願い申し上げます。

質疑 応答

質疑

パウダーボイラー事業についてどうなっているのか。

応答

市・県・森林組合にて協議中。木質の水分を飛ばすためのコスト等課題がある。

質疑

切捨間伐を復活させることはできないのか。

応答

全森連で復活に向けての働きかけが行われている。

質疑

同じく簡易作業道の補助金は復活しないのか。

応答

補助金の復活に向けて同じく働きかけが行われている。

質疑

木材の単価が低いがまだ下がり続けるのか。



質疑

市場に左右されるものですが、現在は安定している。

質疑

間伐にかかる費用、木材の単価の資料や説明は組合に行けば詳しく教えてくれるのか。

応答

以前に配布した資料で確認できる他、本所や支所でも対応している。

質疑

搬出間伐で出た木材を加工・販売する職員体制はきちんと整っているのか。

応答

本所・林産販売課・支所で連携して行っている。

《出席者集計》

総代定数..... 300名
 総代現在数... 300名
 出席者数..... 251名
 (内訳)
 本人出席..... 180名
 委任出席..... 1名
 書面議決..... 70名
 出席率..... 84%

来賓ご芳名

秋田県議会議員

小田 美恵子 様

秋田県議会議員

渋谷 正敏 様

秋田県議会議員

加藤 鉦一 様

秋田県議会議員

三浦 英一 様

由利地域振興局長

岩間 鍊治 様

(代理) 農林部長

赤川 淳美 様

農林部森づくり推進課長

宮野 順一 様

由利森林管理署長

木村 光一 様

由利本荘市長

長谷部 誠 様

(代理) 農林水産部

原 敬浩 様

にかほ市長

横山 忠長 様

(代理) 副市長

須田 正彦 様

秋田県森林組合連合会長

佐藤 重芳 様

(代理) 代表理事専務

沓沢 了介 様

農林中央金庫秋田支店長

中平 和典 様

にかほ市議会議員

佐藤 文昭 様

森林・林業をめぐる情勢(1)

森林組合まつりの林業相談やアンケート調査等で、組合員の皆様から、「跡継ぎがない」、「いても山には関心がない」、「山からの収入がない」、「山を手放したい」といったご意見が多く寄せられます。

「せっかくこれまで育ててきて、ようやく伐れるようになってきた森林を、もうひと踏ん張りしてなんとかしたい」というのが、多くの組合員の皆様の率直な気持ちだと思われます。

今、全国的に、森林所有者の高齢化や採算性の悪化などにより、林業収入が減少し、林業経営が困難になっています。

そこで、「いまの森林資源の状況は」、「林業は、なぜ、こうなったのか」、「今後、どのような方向性を持つべきか」などについて、何回かに分けて掲載させていただき、少しでも皆様のお役にたてていただければと思います。

今回は、はじめに、当管内の森林資源の状況について、ご紹介したいと思います。

～ 由利管内の森林資源 ～

由利管内の森林資源の現況は、表 - 1、2 に示すとおりです。また、当管内の森林資源の主な特徴は、次のとおりです。

- ① 森林面積に占める私有林率が県平均を大きく上回っており、私有林：国有林の比率は、県平均が54：46であるのに対し、由利管内は78：22で、私有林の広い地域となっています。
- ② 管内の森林面積は、県内私有林面積の18.3%を占めています。うちスギ人工林は、面積で、全県の18.8%、蓄積で22.2%、同じく、広葉樹林は、それぞれ17.5%、17.3%となっており、当管内は、スギ人工林とともに、豊かな広葉樹資源にも恵まれています。
- ③ 管内のスギ人工林の林齢は、平均で9 齢級（45年生）に達しているほか、ha当りの成長量も県内で最も高く、管内全体では424千m³/年となっています。
しかしながら、伐採量は、年間成長量の約4割程度（総蓄積の1%程度）と推計されています。

このように、由利管内の森林資源は、森林所有者の皆様の懸命なご努力により、面積、蓄積ともに県内一の資源量を誇るとともに、年々成熟度を増しており、本格的に伐採活用できる時代を向かえつつあります。

生長量に対する伐採率は、秋田県全体でも約4割程度（スギ人工林）ですが、日本全体（スギ、ヒノキ等針葉樹）では、さらに低く3割程度と推計されています。

次回は、森林・林業をめぐる課題等についてご紹介したいと思います。



表 1 森林資源の現況

項 目	全 国	秋 田 県	由 利 管 内	摘 要
森 林 面 積	25,100千ha	822千ha	104千ha	国有林 + 民有林
うち国有林比率	30%	46%	22%	
うち民有林比率	70%	54%	78%	
森 林 率	66%	71%	73%	国土面積に対する森林の割合
民有林人工林率	46%	57%	55%	森林面積に対する人工林
森 林 蓄 積	44億3,200万m ³	1億5,500万m ³	2,462万m ³	国有林 + 民有林
うち国有林比率	24%	37%	13%	
うち民有林比率	76%	63%	87%	
民有林スギ蓄積	(14億9,800万m ³)	7,219万m ³	1,613万m ³	全国値は国有林 + 民有林
ha当り蓄積	(335m ³ / ha)	304m ³ / ha	361m ³ / ha	

秋田県の民有林スギ人工林は面積・蓄積ともに全国一

表 2 秋田県の森林の成長量 (民有林)

1) スギ人工林

	スギ人工林面積 (ha)	総材積 (m ³)	ha当り材積 (m ³)	年成長量 (m ³)	ha当り成長量 (m ³)
全 県	237,489	72,191,157	304	1,895,858	8.0
鹿 角	12,999	3,392,241	261	100,351	7.7
北秋田	44,358	12,201,039	275	341,829	7.7
山 本	29,549	8,419,274	285	202,426	6.9
秋 田	33,675	9,656,372	287	246,891	7.3
由 利	44,702	16,134,014	360	424,549	9.5
仙 北	32,569	9,746,601	299	255,302	7.8
平 鹿	14,928	4,556,566	305	126,853	8.5
雄 勝	24,708	8,085,050	327	197,657	7.8

2) 広葉樹林

	広葉樹林面積 (ha)	総材積 (m ³)	ha当り材積 (m ³)	年成長量 (m ³)	ha当り成長量 (m ³)
全 県	187,237	26,778,409	143	165,253	0.88
鹿 角	9,068	1,287,744	142	7,924	0.88
北秋田	30,516	4,373,620	143	25,561	0.84
山 本	16,459	2,490,467	151	15,311	0.93
秋 田	21,086	3,075,045	146	17,757	0.84
由 利	32,762	4,625,830	141	28,470	0.87
仙 北	28,716	4,066,403	142	27,290	0.95
平 鹿	19,804	2,769,130	140	20,312	1.03
雄 勝	28,825	4,090,170	142	22,628	0.79

秋田県林業統計より

平成25年度 造林補助事業について

1. 今年度の当管内森林整備予算

今年度の当管内森林整備予算は約387百万円（補助金額）となっております。

今年度も昨年度同様に組合員のご理解を得ながら予算消化できるよう森林整備事業を推進して参りますのでご協力をお願いします。

2. 補助金を受けるための条件

下記の補助金を受けるためには、「森林経営計画の認定」が必要となります。

3. 平成25年度 造林補助事業種別補助金額（森林環境保全直接支援事業）

作業種	対象林齢	採択要件・留意事項等	補助金額（1ha当り）	
			組合作業	所有者作業
植栽	スギ	<ul style="list-style-type: none"> ・区分 植栽本数 2,100～2,499本 植栽本数 2,500～3,000本 ・枯損率 20%未満 ・再造林、拡大造林の区分無し ・広葉樹A：苗高 50cm以上 ・広葉樹B：苗高 100cm以上 ・広葉樹C：苗高 150cm以上 	738,000 ～ 818,000	581,000 ～ 644,000
	マツ		588,000 ～ 640,000	463,000 ～ 503,000
	広葉樹A		1,199,000 ～ 1,370,000	944,000 ～ 1,078,000
	広葉樹B		1,560,000 ～ 1,802,000	1,228,000 ～ 1,418,000
	広葉樹C		2,248,000 ～ 2,624,000	1,769,000 ～ 2,065,000
下刈	単層林：1～10年生 複層林：1～25年生	・1年生、2年生～、2回刈の区分無し	110,000	86,000
雪起こし	2～25年生	<ul style="list-style-type: none"> ・雪圧倒伏率30%以上で採択 ・区域面積×被害率＝実施面積で申請 	203,000	160,000
枝打ち	11～30年生	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上げ幅 1.2m～9.6m ・実施本数 100本～2,500本/ha 	10,000 ～ 313,000	7,000 ～ 246,000
除伐A	11～25年生 天然林は60年生まで 又は 平均胸高直径18cm未満	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採本数率 20%以上 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと ・刈払率 100%以上 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと 	113,000	89,000
除伐B			82,000	65,000
間伐	11～100年生	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採本数率 20%以上 ・伐採材積率35%以下 ・標準単価 10m³～100m³/haで10m³刻み 	70,000 ～ 465,000	55,000 ～ 366,000
更新伐	11～90年生	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採本数率 56%以上 ・2年経過後、更新完了の確認必要 	77,000 ～ 815,000	60,000 ～ 642,000
間伐・更新伐 共通		<ul style="list-style-type: none"> ・5ha以上の集約化かつ10m³/ha以上の搬出必要 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと ・材積が確認できる納品伝票等、はい積み写真必要 ・間伐と更新伐あわせて5ha以上で可 		
森林作業道	上記の作業に係わる 作業道の開設	<ul style="list-style-type: none"> ・土構造を基本とし、繰り返し使用に耐えるもの ・幅員（2.0m 2.5m 3.0m）、地山勾配で区分 ・最急縦断勾配 30%（11.9°）/100m以内 ・出来形管理、写真管理、台帳整備必要 	m当 664 ～ 1,955	m当 523 ～ 1,540

新採用職員紹介

4月1日付けで、新しく職員を採用しました。どうぞよろしくお願ひします。



土田 聡
造林課
由利本荘市



豊嶋 恵美
林産販売課
由利本荘市



佐藤 新一郎
造林課
にかほ市



太田 岬
本所造林班
由利本荘市



堀 啓悟
本所造林班
由利本荘市



庄司 和幸
円柱加工場
にかほ市



小沼 大輔
本所造林班
由利本荘市



山田 竜也
本所造林班
由利本荘市



高橋 晃喜
木材流通センター
由利本荘市

退職者のお知らせ

- 小松 義文
東由利支所主査
(3月31日付)
- 小川 瑞樹
林産販売課主事
(3月31日付)
- 阿部 多喜子
造林課嘱託
(3月31日付)

退職者の皆様
長い間、
ご苦労様でした。



人事異動についてのお知らせ

平成25年4月1日付

氏名	新職名	前職名
菊地 綾子	林産販売課課長補佐	林産販売課主査
今野 正哲	岩城支所係長	岩城支所主任
阿部 正輝	矢島支所係長	矢島支所主任
伊藤 貴弘	大内支所係長	大内支所主任
遠藤 佳苗	矢島支所主任	矢島支所主事
清水 翼	林産販売課主任	林産販売課主事
本間 慎二	造林課主任	造林課主事

平成25年6月1日付

氏名	新職名	前職名
齋藤 清稔	鳥海支所長	由利支所長
佐藤 源市	大内支所長	鳥海支所長
武田 清光	本荘支所長兼林産販売課長補佐	大内支所長
三浦 浩巳	由利支所長兼林産販売課長補佐	林産販売課長補佐
菊地 綾子	総務課長補佐	林産販売課長補佐
菊地 輝和	仁賀保支所係長	造林課係長
大竹 直子	林産販売課主任	総務課主任
阿部 敏輝	林産販売課主事	総務課主事
佐藤 広茂	造林課主事	林産販売課主事
土田 聡	総務課主事	造林課主事

木材市況情報 (平成25年)

単位：円、上段(石当り価格)
下段 m³当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	4月5日			5月2日			6月4日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	16~22	(2,550)	(2,538)	(2,546)	(2,600)	(2,446)	(2,544)	(2,628)	(2,624)	(2,625)
			9,181	9,140	9,167	9,360	8,807	9,159	9,462	9,447	9,453
		24~34	(3,538)	(3,391)	(3,435)	(3,640)	(3,064)	(3,394)	(3,600)	(3,121)	(3,448)
			12,739	12,208	12,366	13,106	11,031	12,220	12,961	11,237	12,415
出材量・販売量・販売率			538m ³ (1,937石)・538m ³ (1,937石)・100%			1,000m ³ (3,600石)・1,000m ³ (3,600石)・100%			1,261m ³ (4,540石)・1,261m ³ (4,540石)・100%		

4月：山形、新潟県勢がほとんど落札。すべての径級でやや強含みの展開で枚数も多い。3回続けての完売。
5月：材質によって価格差はあるが、総じて強含み。県外勢と常連の量産工場などの参加により4回連続して完売。
6月：材質によって価格差はあるが、総じて強含み。常連の量産工場の参加により完売。原木不足感あり。

総務課よりお知らせ

～ 賦課金納付のお願い ～

平成25年度の賦課金納付期限は7月31日(水)となっております。納付は、組合本所・支所及び下記の管内金融機関へ納入下さいますようお願いいたします。なお、秋田しんせい農協では手数料がかかりません。

【取扱金融機関】

秋田銀行管内各支店 / 北都銀行管内各支店 / 羽後信用金庫本店・各支店
山形銀行本荘支店 / きらやか銀行本荘支店 / 秋田しんせい農業協同組合各支店



労働安全衛生大会

六月二十一日、由利コミュニティセンター「善隣館」で協力事業体、森林組合技能班員、職員他約百二十名が参加して労働安全衛生大会を開催しました。大会では小松組合長の挨拶に続き、昨年度退職した林業技能者への感謝状贈呈と優良運転者表彰が行われました。

本題の安全講話は、本荘労働基準監督署の監督安衛課長・児玉勇氏より、「最近の林業災害の状況について！」をテーマに講演を頂きました。

安全宣言とともに参加者全員が労働災害ゼロを誓いました。



安全宣言
林産販売課技能班 三浦 淳

「退職者感謝状贈呈」

本所林産班

今野 武氏

長い間ありがとうございました。

ございました。

平成25年度 林業相談日

相談員：三浦 光喜

7月	19日(金)
8月	16日(金)
9月	20日(金)

今後の行事予定

各地区組合員研修

7月10日

組合まつり

10月

